



よいた

町だより 町長川上文平書

No. 67 1月号

昭和46年1月10日 ■発行／与板町 (代表者与板町長川上文平) ■編集 与板町だより編集委員会



とじて保存して下さい

ワァー 新しい年 1972年

新しい目標にむかって 元気に前進

「明けましておめでとうございます」何百年も、毎年いわれて来た言葉です。私達もつとも愛する、公害のない緑の町「与板町」に1972年の新春が静かに明けました。

さあ、新しい目標にむかつて進んでいきましょう。今年も健康で明るく豊かな町に……。

「何事か今年には良い事ある如し」

元日の朝、晴れて風なし!!

人口の動き	
12月31日現在	
()は11月末との比較	
人口	8,021人 (- 2人)
男	3,898人 (- 1人)
女	4,123人 (- 1人)
世帯	1,812 (+ 1)
出生	13人
死亡	10人
転入	13人
転出	18人

恭頌新禧 町長	2
〃 議会議長	3
助役・教育長に	2
元旦にひろう	3
自治功労章内山大三氏に	4
与板小・大量入賞	4
水兄弟	4
ごくろうさん	5
秀作ぞろいで	5
総額三九〇、四九四円	6
保育所入所申請は	6
またピーポ、ピーポが	7
与板の歴史をたずねて	7
おしらせ	8
ポストコーナー	8

おもな内容は



妊婦検診の変更

毎月第二週金曜日に行なつていましたが、昭和四十七年一月より毎月第二週水曜日に変更いたします。但し変更になつた場合は連絡いたします。

時間 一時半より三時迄
場所 母子健康センター

ポストコーナー



郵便料金が変ります
二月一日
郵政省では二月一日から「てがみ」の料金を改正いたします。「はがき」は十円に、「手紙」は二〇円に、「往復はがき」と「郵便書簡」はそれぞれ二〇円です。「こづつみはがき」は十円で、他に小づつみの料金も改正されます。二月一日に投函のものから不足分は切手で貼付し

アーケードは人の通る所

アーケード下の歩道に箱、ビン、カン等を置いたり商品陳列し広告物などを吊下げたりしますと歩道交通の障害になるばかりでなく火災などの災害が起きますと延焼の原因となり防災活動の妨げとなりますのでアーケード(歩道)には、物を置かないでください。

冬期間 駐車禁止区域に

十二月号でお知らせ致しました主要国道長岡・寺泊線の与板橋十字路から三島町まで、一般国道与板関原線の上町角から三島町界までと町道丹戸線の塩文脇から橋橋までの冬期間駐車禁止区域内で駐車してあつた場合には下記写真の用紙「駐車違反警告



書」が自動車に取り付けられます。そして警察に報告され、駐車違反をしないように十分に注意されますから違反しないよう御注意ください。そして他の交通や除雪作業の妨害にならないよう……。



「書」が自動車に取り付けられます。そして警察に報告され、駐車違反をしないように十分に注意されますから違反しないよう御注意ください。そして他の交通や除雪作業の妨害にならないよう……。

自治功労章 内山大三氏に 勲五等瑞宝章を

「日本国天皇は内山大三を勲五等瑞宝章を授け、昭和四十六年十一月三日皇居において勲章をおさる。総理大臣佐藤栄作……重々しい賞状と勲章を神棚から出して……」

内山大三氏は明治三十三年に生まれ、現在七十一才でおられます。氏は若冠三十二才にして与板町議会議員に当選、常に公正なる意見を吐き、民主的政治の遂行に努力し、町政の伸

展につくされ、昭和二十二年四月郡民の輿望を担って県議会議員に当選すること二期、常に県政の発展に努力され、特に県議会運営にその手腕を遺憾なく発揮された。その後昭和三十八年四月与板町長となり、豊富な経験と情熱をもつて常に住民福祉のため積極的に対処し、幾多の業績をのこされました。

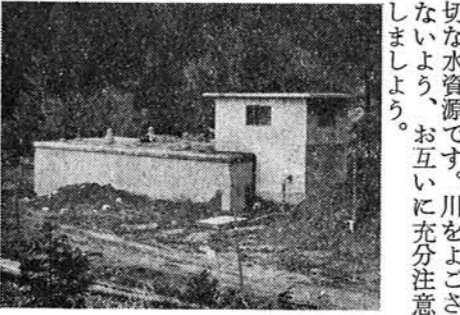
氏は以前より広域行政の構想を持っており、機会あるたびに郡内町村に強調しておられ、清掃センター、水道計画と手掛けられた。昨年十一月三日自治功労者として叙勲されました。

氏は現在、病床の身であり、早く健康になられ、趣味の絵筆を持たれる日を……



与板小・大量入賞 第八回一科ジュニア展に

- 一月七日から九日まで、長岡市の厚生会館において、第八回一科ジュニア展に与板小の作品が三五名奨励賞を受け展示されました。
- 作品の内容は、おもに、与板祭を題材にしたもので、親子が一緒に遊んでさわいであるところに注目する目点が見られます。
- | 一年 | やたい 中野 越人
河内 里子
八子 豊
山崎 仁
小林 里子
金山 純也
山崎 一博
西沢 正伸 |
|----|--|
| 二年 | 与板祭り 小林 茂雄
シヤベルカー 山崎真彩美 |
| 三年 | 冬の山 長谷川恵美子
赤い馬につて 小林 徹
笠原 陽子 |
| 四年 | 人物 鎌田 道子
与板祭り 高野 正史
長谷川建雄
風間 智春
久住 幸雄 |
| 五年 | 屋台 高橋 敬子 |



- 六、五〇〇米先の水兄弟
- 与板町が今回実施しました上水道拡張工事の計画の中には、隣りの和島村にも配水することが含まれておりました。和島村では、昨年七月に塩入隧道の西側に配水池と全線に亘る配水管布設工事に着手いたしました。工事も順調に進み、十二月二十八日には島崎地区、二十九日には、小島谷駅周辺に与板から送られた水が、各家庭に給水されました。
- 信濃川から汲上げて浄水された水が約六、五〇〇mの長い旅をして、和島村の人達に給水されたことは私達と同じ水をお飲む「水兄弟」というわけですね。おめでとうございませう。
- 現在与板の浄水場では一日約二、六〇〇m³(与板町分二、〇〇〇m³・和島村分六〇〇m³)を濾過し送水しております。
- 信濃川の水が山を越え、和島村で飲まれた今日……水はだれがどこでどのよりかきません。私達の生命を守る「水」母なる川、信濃川。
- | 六年 | 働く人 石橋 正明
山崎 則夫
和納 修 |
|-------|---|
| 版画 | 山崎 綾子
大平 忠英
池浦みゆき |
| 屋台 | 池田 浩栄
真島 武夫
細川 藤雄
森川 直樹
長谷川浩司
黒川 明佳
森 早苗
山崎 早苗 |
| 与板祭り | 騎馬戦 森 早苗
与板祭り 山崎 早苗 |
| ほえる屋台 | 真島 秀和
佐藤 信 |

永年組合長さんに感謝状 「ごくろうさん」

税金の納入について当町では四九の納税組合があり、〇二六世帯の方々から加入していた。ご町税で四二%国民健康保険税で六八%、総額三千七百万円の徴収をお願いし納税成績の向上に非常に大きな力になっていただいております。その納税の原動力として組合長さん方のかくれた御苦勞は計り知れないものがあります。

去ま十二月十日、納税組合長会議の席上、永年組合長をおつとめいただいたりする方々の中から次の三氏に感謝状を贈呈いたしましたのでご紹介いたします。



(倉谷納税組合長)
小 熊 寅 三 郎 氏

昭和三十三年設立以来組合長に就任、以来温厚な人柄に人望も厚く町内はもとより町内外からも加入している人がいるくらいスムーズな運営がなされており、滞納があつた時代のことが昔話として語られる程、納税意欲が向上して



(共栄納税組合長)
小 林 直 治 氏

組合の設立が昭和二十六年というから与板町では納税の草分けであり組合員はみな鍛治関係の同業者、戦後の重税の苦しみをいやと云うほど味わつてきた人達ばかり、三十八才で組合長は推された氏は以来、毎年一回以上集會し納税の外に組合員の研修の場として経営の合理化等を推進、常にその中核となつて活やくされています。



(同心納税組合長)
原 義 一 氏

いる。尚昭和二十二年以来二十五年間も町内委員長として献身的努力を続けておられる。

会社の経営者として非常に御多忙の中を昭和三十四年組合設立以来組合長をつとめ親分肌で人のめんどうを良くみられるので組合員も一人、二人と増し現在三十七名になつてゐる。かつては組合員を集め納税知識の講習を開いたと云われるだけあつて、この組合員は納税知識が豊富である。納税事務については会社ぐるみ協力を惜しまない人である。

「読書感想文集」発刊
秀作ぞろいで
先生方苦心す

マスコミ文化のはんらんによつて、とかくすると現代の子供たちは、名作本に読みふけるという場面が少なくなつてゐる。三島郡図書館部では、三島郡内の小中学校より読書感想文集を集め、このたび「読書感想文集」を発刊しました。秀作ぞろいで特選作品をきめるのに苦心したとのこと、その結果与板町関係では次の通りであります。

- | ◎小学校の部◎ | 「八月がくるたびに」 高橋 宏明
「千本松原をよんで」 深谷 麗子
「静かなドンを読んで」 小林久美子
三年 小林久美子 |
|---------|--|
| ◎中学校の部◎ | 「消えた野犬を読んで」 佐藤 司
「杜子春を読んで」 飯塚 昭彦
二年 飯塚 昭彦
「静かなドンを読んで」 小林久美子
三年 小林久美子 |
- つぎは、特選の部の小一年の竹内美子ちゃんの作品です。

かたあしだちようの エルフ

エルフさんは、ひといきでせんメートルも はしるから エルフといふなまえが ついたのだそうです。つよくて すばらしく大きなだちようで、子どもさだかからみんなのにんぎが あつたんです。

エルフさんは、みんなのために ライオンとたたかつてとうとう かたあしになつてしまいましたね。わたしは、ここが 一ばん ころこのこりまりました。

いたかつたでしよう。みんなのために たたかつて エルフさんは とても かんしんだとおもいます。

わたしは エルフさんだつたら すばらしくはやくはしるから、ライオンが、こわくて

にげだして いたかもしれない。いつも かたあしでたつていって つかれるでしよう。

はじめのうちは、ともだちも 子どもたちもたべものを はこんでくれたのに、あとになつて みんなでかたあしだちようを からかつたりして、かわいそうだと おもいました。

まいにち いつしよにあそんでいた 子どもたちとも あそべないので、ひとりぼっちになつて しまいましたね。

さびしいでしよう。

わたしのうちは、おとうさん、おかあさん、おばあさん、おとうさんがいて、さびしくありません。

でも、わたしが こうつうじこで エルフさんみたいにかたあしになつたら、ともだちと ゴムとびもできないし、かけっこもできないし、えんそくにもいけないからとても、さびしいと おもいます。

だから わたしは エルフさんのそばへ、いつて あそんでやりたいと おもいました。ともだちを たくさんつれて、エルフさんのあしの下へいつて、いろいろ おはなしをして あげたいと おもいました。おはなを たくさんつんで くびかざりを つくつて エルフさんに あげたいとおもいました。

町づくりに役立つ 簡易保険

簡易保険は大正5年に小口・無審査・月掛・集金を特徴とする国営の生命保険として創設しました。現在では総加入件数45万件、契約高12兆円を越える大事業に成長しています。この資金は都道府県・市町村などの地方公共団体、公社、公団、公庫などに融資され、住宅、学校、道路など、みなさまの身近な生活環境の整備拡張に役だっています。また老人ホーム、保養センター、レクリエーションセンター、診療車などの福祉施設を全国各地に設置、配備してみなさまの福祉につとめております。

そなえあればうれしいなし 交通共済に加入して 皆んな笑顔で

いつでも加入できます

赤い羽根共同募金

総額 三九〇、四九四円

目標額を上まわる好成績

毎年実施しております「赤い羽根」共同募金は、町民各位の御支援、御協力を得まして、昭和四十六年度も目標額を上廻る好成績で完了させていただきました。本紙を以つて厚く御礼申し上げます。

- ◎小中高等学校募金額 一六、七八三円
◎法人大口募金額 (有)石黒産業殿 一〇、〇〇〇円
明道金属与板分工場殿 二、〇〇〇円
◎個人大口募金額 浜田英一郎殿 一〇、〇〇〇円
◎各町内戸別募金額 三〇二、八一〇円

◎その他募金額 与板町保護司会殿 四〇、〇〇〇円
その他募金 八、九〇一元
募金総額 三九〇、四九四円

よいこの 保育所入所申請は



先生さようなら
みなさんさようなら
たのしそうにおばあさんと
いつしよに帰るある日.....

昭和四十七年度保育所入所希望者の申請を次の要領により受け付けいたします。
一、入所資格
昭和四十一年四月二日以降に生まれ、与板町に住所を有しており、厚生省の入所基準等に適合する児童。
二、申請書受理期日
①昭和四十七年一月二十四日
②午前九時より午後三時迄
③場所：消防本部二階
三、措置児童の定員
与板保育所 二〇〇名
本与板保育所 四〇〇名
※定員を超える場合は、入所措置基準等により審査され、入所できない場合がありますのでご承知下さい。
※添付書類は必ず添付して下さい。
※添付書類のないもの及び代

すけあい運動があります。歳末たすけあい運動は、ふりてい教会を中心に行なわれていたのですが、広く一般に呼びかけるようになったのは明治四十一年に救世軍が行なつた「慈善鍋」が最初であるといわれています。
恵まれない人びとも、暖かいお正月を迎えられるように、歳末に金品を困窮者に贈る運動で、地域住民の自発的

な運動として発展してきました。これらの運動をとおして、ひろく国民の思いやりとたすけあいの心をよび起こし、お互いのしあわせを高めるのが目的であります。
「みんなの温かい心を持ち寄る国民たすけあいの姿」今年も旧年に倍し、みなさんのご支援、ご協力をお願いいたします。



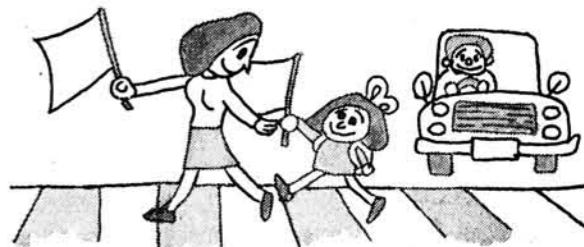
10月1日から たすけあって 共同募金

第十八回 「わが家の家計簿」 体験談募集
原稿は 本文は四百字詰原稿用紙五枚以内ほかに、月別・項目別支出一覧表を添付してしめ切
昭和四十七年二月二十九日 入選発表
昭和四十七年六月中旬 送り先
新潟県貯蓄推進委員会
新潟市寄居町(千九五一)
日本銀行新潟支店内

ぼく青になるまでまっよ (交通安全教室)

おかあさんが良い手本を.....
これだけは子供に教えましょう

- ・道ばたで必ずいつたん停止すること
・正しい横断をすること
・信号を守ること
・道路に沿って歩くときの注意
・車のかげの車に注意



また!!

ピーポ・ピーポが

救急車出動状況

「ピーポ・ピーポ」もう皆さんご存知の救急車の電子サイレンの音ですね。この救急業務は昭和四十一年九月から開始されました。この救急業務はあらゆる人的災害、急病等について行なわれ、安全、迅速かつ確実に病院等救急患者収容施設に搬送されます。この救急業務の出動件数については別表をご覧ください。年々増加の一途をたどりますが、昨年十一月までの出動件数は一昨年のほぼ倍近く出動しております。

十六年十一月までの交通災害(救急業務発足以来)は四三・四〇%と非常に高い割合を占めております。

(参考)
出動件数に占める種類の割合は
交通災害 四三・四〇%
労働災害 六・九四%
自損事故 八・九五%
急病 三一・九九%
その他 八・七二%
世の中の生活文化の向上とそれに伴うところの人心の不安定さがもたらすものと考えられます。どうか皆さん、新年を期して個々の行動には細心の注意をおこころがけいただき、急病等以外には救急車で運ばれることにならないよう充分気をつけて下さい。

そして救急業務の種類ごとにみてみますと、交通事故による出動が各年度とも他に比べて多く、一昨年及び昨年は特に急激に増えておりまして、昭和四十一年九月から四

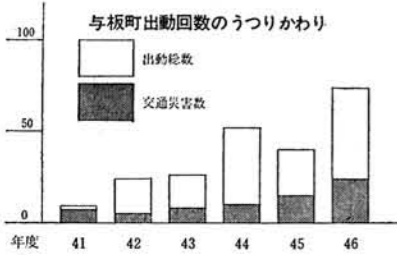
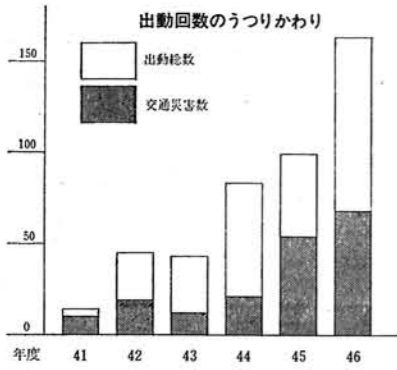


Table with columns for year, location (与板町, 和島村, etc.), and emergency call counts for various categories.



与板の歴史とたすけあい

十三、明治維新と与板

与板が戊辰戦争の苦しみにあつていた頃、明治天皇をいただく新しい政府が生まれたのです。この年の慶応四年(一八六八)九月、年号を明治とあらためて江戸が東京となつて、新しい政治・社会の改革が次々に行なわれてゆきました。

柏崎県に合併され、やがて明治九年に現在の新潟県となつたのです。その間、与板藩知事であつた井伊直安は東京に住まいさせられ、かつての藩士は新しい職業にかわつてゆきました。



井伊直安

与板の新しい諸制度
与板の新しい行政区は、与板真実地・与板町・本与板村・与板村・海老島新田・馬越村・仁ヶ村・岩方村・脇川村で、これを十一組にわけました。それぞれの組に、今の町内委員長にあたる用掛をおき、それをまとめる今の町長にあたる戸長がおかれ、初代戸長は山田四郎左衛門と三輪正左衛門に、それを助ける今の副戸長にあたる副戸長もおかれました。こうした与板の新しい体制が明治四年に出来ると、次々と新制度がつくられました。
明治五年から戸籍簿が作られ、番地・生年月日・所属の神社やお寺が記される

と、ひろく国民の思いやりとたすけあいの心をよび起こし、お互いのしあわせを高めるのが目的であります。
「みんなの温かい心を持ち寄る国民たすけあいの姿」今年も旧年に倍し、みなさんのご支援、ご協力をお願いいたします。

明治六年には徴兵制度ができ、男子は二十才になる徴兵検査を受けることになつたのです。また、この年から地主は今までの年貢にかわり、お金で納める地租改正が行なわれました。明治七年には、郵便所が仲町の現在の新潟相互銀行の位置に建てられました。その後、南新町の青柳長之助宅・中村組の位置へと移動し、現在の場所に移転したのは明治三十六年です。明治十二年には三島郡役所の仮庁舎が中川岸に、本庁舎はその後、現在の警察署の位置に建てられたのです。郡役所設置は、新しく郡区町村制がされたことからで、与板は三島郡の中心地であつたわけでした。またこの年に、与板警察署が現在の消防本部の位置におかれることになりました。このようにして、与板はわずか十年間ほどで、次々に新しい時代の体制を整えていったのです。